



第387号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



幸せ目指し

しあわ せめ



カット：本多紘子

春たけなわの季節、入学式のシーズンですが皆様いかがお過ごしでしょうか。お寺の庭にも小さな花が爛漫に咲いています。

倉敷川の土手では河津桜が3月の始めに、寒い中を懸命に花開き楽しませてくれましたが、今は染井吉野桜が満開で二度目の花見を楽しませてくれています。新型コロナウイルスのオミクロン株もそろそろ感染流行が治まりつつあるので、お花見を楽しみたいものですね。

春は中国からの黄砂や山に植えてある杉の花粉が飛んできて、目もしよぼしよぼしたり、鼻水が出て止まらない花粉症に悩まされるときでもありますが、愚僧も二年前から花粉症が出て困っています。

困るといえば、2月24日にロシア軍が隣国のウクライナに軍事侵攻したことです。ロシアのプーチン大統領は、「ウクライナはウクライナ国内にいるロシア人の虐殺を行っている」ので救済のために侵攻したと虚偽の大儀をロシア国民や世界に表明しました。ロシア国内では政治的偽情報宣伝（プロパガンダ）が老人達には信用されますが、若い世代は携帯電話のSNS情報を見たり聞いたりしてはいますので、プーチン大統領の侵略行為に反対に思っている人が増えています。21世紀になって、このような大国が侵略戦争を起こすとは誰もが予

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

測しなかったもので、世界中の人が悲しみ驚いています。ロシアは「民間施設や民間人には攻撃をしない」と言いながら、民間施設を攻撃して「ウクライナ軍がウクライナ人を虐殺している」と嘘をつく。ウクライナ国民の女性や子供たち350万人の人が一ヶ月の間に、急ぎ戦火を逃れるために我が家を離れ隣国や外国に緊急避難しています。

ロシアのプーチン大統領は、ロシアとウクライナは昔は兄弟国であったが、ソ連崩壊によってロシアからウクライナが離れて行ってしまった。それも西側諸国に軍事面を頼ろうとしており、ロシアから一段と遠ざかるのを許せずに、ウクライナに侵攻したので。

昔、キエフ公国のときにウクライナのキエフが中心で、その後ロシア公国が独立し分かれました。ロシアがソ連になった時、ウクライナも併合され、やがてソ連崩壊の時にウクライナはロシアと別れています。プーチンさんはソ連時代の大帝國を夢見て、ウクライナを併合したいのです。喩えてみると夫婦仲が良さそうに見えるが、何かの事情で別れざるを得なくなり離婚します。ご主人のロシアは、慎ましやかだった奥さんのウクライナが忘れられず、再婚しようと誘います。しかしご主人のロシアは亭主関白で何事も自分の思い通りにしたので、奥さんのウクライナは拒絶します。拒絶されたロシアはストーリーとなり、奥さんのウクライナを暴力で痛め脅しているのです。

プーチンさんの夢とロマンのために世界中が困惑しています。ウクライナの美しい国が壊され、多くの民間人も殺されています。また、ロシアで徴兵された多くの若い軍人も、貴方に騙され無駄死にしています。プーチンさん、そろそろ目を覚まし共に「懺悔」しましょう。

『華嚴経』の中に「懺悔文」があります。「私がこれまで成してきた色んな過ちは、遙か昔から脈々と繋がる。むさぼる心、瞋りの心、愚かな心をもとにして、からだ、ことば、意識を通して表れてきたものだ。私はいま、きっぱりと心に誓う。そのすべてをひとつひとつ、心を切り刻むようにして、悔いていきます。」合掌（奥原 曇龍）

『春爛漫独りよがり悲しいな みんな幸せ目指し生きていく』 どんりゆう

日時・四月十七日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。

春の永代経法要 『儀式』と『仏教講演』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 唯

ともしび説法



お釈迦様ものがたり

仏教の開祖であるお釈迦様は、今から二千五百年前にインドで35歳のときにマガダ国の尼連禪河のほとりですとりを開き、その後にはしばしば生国である釈迦族のカピラ城を訪問されています。

成道後に、多くの仏弟子が出来、教団が大きくなりますが、ほぼ成道15年の50歳の頃、釈迦族の有力な六人の子弟と、一人の理髪師が出家したことも、重要な事件でした。

そのうちのアーナンダ(阿難陀)は、後にお釈迦様の侍者となり、いつもお釈迦様のお世話をしていたので多聞第一と賞され、お釈迦様が亡くなった後に、生前の言葉を残すために仏教の經典編纂会議で大活躍します。

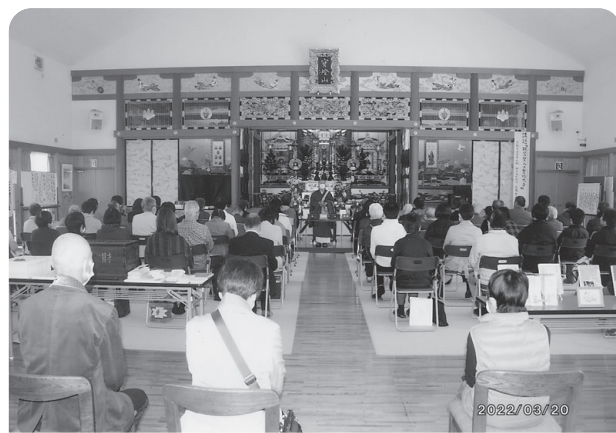
アーナンダが出家したのは20歳のころの時だと言われ、釈迦族の甘露飯王の子で、お釈迦様と従兄弟になります。出家後やがて彼は第一級の聖者となり、5年後の25歳ごろにお釈迦様の侍者となりました。

お釈迦様が成道後に仏教教団が大きく発展していきますと、秘書のような侍者が必要となり、成道後20年の間にナーガサマラーやウパワナー、スナツカッタ、チュンダ、サーガラ等が侍者となったが、いずれも長続きせずにお釈迦様の意に満たなかった。

お釈迦様の体調を心配された長老の舍利弗は、アーナンダが謙虚で優しくだったので、お釈迦様に侍者として推薦します。

アーナンダは辞退をしますが、目連尊者も使いに来て侍者を薦めます。アーナンダは3つの願いをお許し下さるなら引き受けましょうと言つて、1にお釈迦様の古い法衣や新しい法衣はいただかない。2にお釈迦様の残りの食べ物や鉢の中のものはいただかない。3に同じ部屋に寝泊まりをしないという願いがありました。その願いを聞き入れられ、お釈迦様が80歳で亡くなられるまで侍者として、真剣にお世話されました。合掌(奥原豊龍)

ウクライナ助けられずに悲しいな 春を呼び込め平和のともしび 田辺多恵子



3月20日(日) 心光寺彼岸会合同法要(本堂にて)

ともしび法話

花が咲き乱れる四月、はなやかな入学式のシーズンですが、皆様いかがお過ごしですか。花粉症で悩む人もあり大変ですね。お寺では春の永代経法要の準備で大忙しです。仏教講演もあり、皆様方も気軽にお参り下さい。お待ちしております。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

4月17日(日)の午後一時から春の永代経法要が心光寺で開催され、楽しみです。仏教講演を聞きながら、命の尊さと大切さを深く学ばせて頂き感謝しています。

倉敷市亀島 磯永 充利

「ロシアのウクライナ侵略を憂う」人間 国と国のもめ事になると平気で人を殺す人間で悲しいな

総社市中原 上田 高美

今日より大事な 明日はなし 笑って笑って いい人生 花は咲き咲き成仏す 花は散り散り成仏す 皆様 死ぬまで長生きいたしましょう

倉敷市中庄 山根 葉子

ともしび説法

日時・四月 十七日「日曜日」 午後一時から四時頃まで。
春の永代経法要 『儀式』と『仏教講演』
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 五月 十一日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
- 六月 八日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
- 七月 七日(木)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



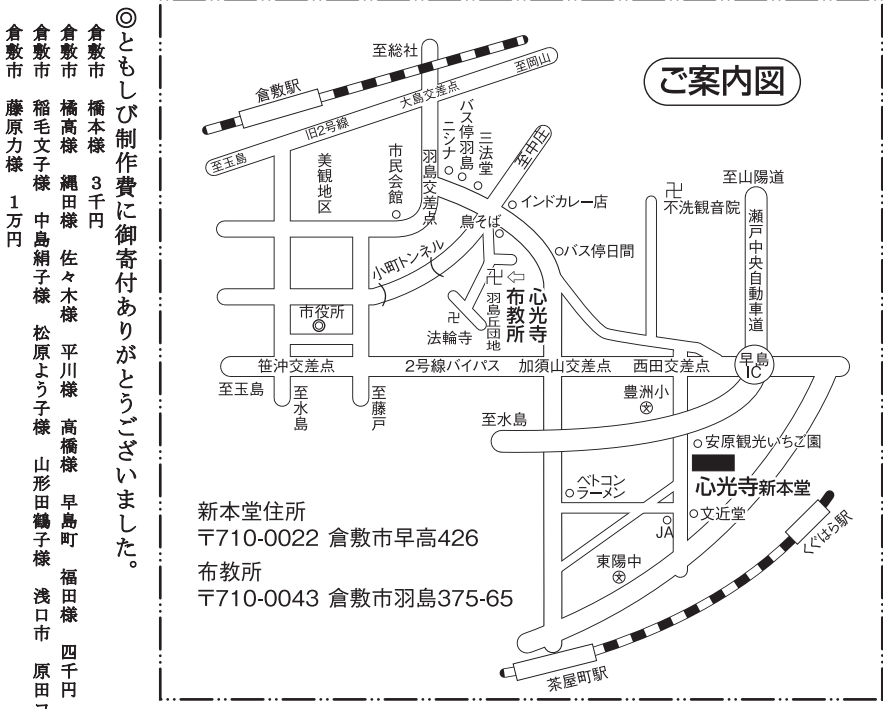
こころの詩

春爛漫の季節がきた 待ち遠しかった春 みんなに会いたかったから 無理をしても出かける 目からうるこが落ちるようになり もうコロナ感染を恐れまい 人と人との出逢いこそ大切だ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「387号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。春の法要の日には、倉敷駅西ビル横の駐車場に12時、茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦